



★ ★ ★ ★ ★
COLUMN

That's so American!!

ノースカロライナ州から
さまざまな医療にまつわる出来事を紹介

第22回 病院のボランティア人員 ～病院とボランティア、双方にとっての貢献～

ノースカロライナ州メディケア・カウンセラー

アメリカ病院経営士会認定病院経営士 薬剤師（日本） 河野圭子

ボランティア精神が根付くアメリカでは、病院も積極的にボランティアを受け入れており、運営に欠かせない存在となっています。今回は、病院におけるボランティアの募集方法、配属分野、そして病院とボランティアの双方のメリットについて紹介します。

幅広い年齢層を対象としたボランティア募集

①高校生・大学生

アメリカでは、大学出願や仕事の応募には、地域貢献としてのボランティア経験が重視されるため、多くの学生が病院ボランティアを希望します。病院側は、学生の関心を引くために「病院インターン（高校生）、患者ケア・インターン（大学生）」など魅力的なタイトルでホームページやSNSでボランティアを募集します（図表1）。また、学生は、病院ボランティア活動を通じて医療に興味を持ち、進路を医療系に変更する生徒も多いので病院にもメリットがあります。

②地域コミュニティのボランティア

主にリタイア後のシニア層が中心であり、地域貢献、友人

づくり、そして自身のスキルを生かして楽しく活動しています。シニアのボランティアが病院を支える立場で活躍することは、本人の健康維持や促進にもつながっています。

配属先は、受付サポート、ギフトショップ、コーヒーショップ、患者の搬送・送迎など多岐にわたります。希望や適性に応じた配属が可能のため、ボランティアの満足度が高く、患者さんからも好評を得ています。また、ボランティアが病院での良い体験を周囲に伝えることで病院の広報効果にもつながります。

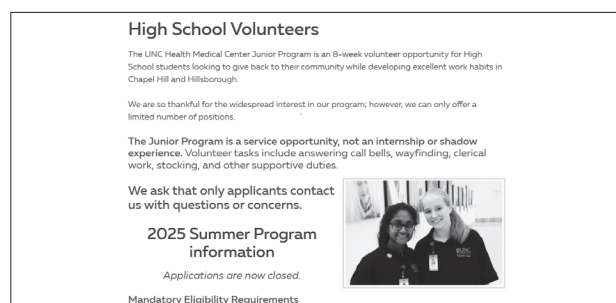
ボランティアのモチベーション維持方法

感謝イベントの定期開催や、「今月のスター・ボランティア」として本人の写真・名前・勤続年数を病院の正面玄関、院内新聞に掲載して、職員や患者の認識を高めています（図表2）。

まとめ：双方を支えるボランティアの力

病院のボランティア活動は、若い世代には将来に役立つ貴重な経験になり、シニア世代には人生経験を生かした社会参加の場になっています。このようにボランティア活動は、個人の成長と病院の支援の両面において、大きな力になっているのです。M

図表1 UNC 医療センター 高校生の夏インターン募集ページ



<https://www.uncmedicalcenter.org/uncmc/support/volunteer-services/high-school-volunteers/>

図表2 UNC 医療センター 高校生の夏インターン募集ページ



<https://www.unclenoir.org> 2025年4月26日ボランティア感謝週間
UNC Health Lenoir Honors Dedicated Volunteers During National Volunteer Week